

ダンジョンに赤い弓兵
を求めるのは間違っ
ているだろうか。

初心者 28号

注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

あらすじ

TS転生した少女がFate世界の英霊の力を貰ってダンまちの世界で無双する話

第1話

目次

1

第1話

目が覚めると、見た事のない場所にいた。

「……ここはどこだ？」

周りを見渡しても、一面真っ白で何も無い……

しばらく歩いてみたが、何も無い……

「どうやら私はここで死ぬらしい……」

「……いや、お主もう死んでいるからな」

……ハゲのじじいとエンカウントした……

「ハゲで悪かったのう」

「心が読めるのか？」

もしかして目の前にいる不審者は

「不審者ではない、神じゃ」

「やはりか」

「まあ、簡単に説明すると、わしの手違いで君の命の火を消してし

まったんじゃ」

「元に戻すことは？」

「出来ん」

「そうか」

「お詫びに好きな所に転生させるから、許してくれ」

「特典付きでか？」

「もちろん」

「了解した、どこに転生するのだ」

「お主の好きな世界でいいのじゃ」

「特典はいくつももらえる？」

「お主は善人じゃからの、いくつでもいいぞ」

「そうか、なら転生先はダンまち、ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうかの世界にしてくれ」

「わかった」

「特典はそうさなあ、F a t e / s t a y n i g h tとF a t e / Z e r oのサーヴァント

達の能力を強化したやつとそれを扱う技術と知識をくれ」

「一部無理なのがあるがよいか？」

「ああ、別にいいぞ」

「容姿はどうする？」

「そうだな、まずこの際だから女にしてくれ」

「…よいのか、お主男だろう？」

「ああ、二度目の人生だからな、女として楽しむのもよからう？」

容姿はイリヤスフィールを17歳ぐらいにしてボツ、キュ、ボンで

お姉さまって感じにしてほしい、服装はアーチャー装備で」

「わかった…では送るとしようかの、あとは自由に生きるといい

…さくらばじゃ」

「ああ、世話になった」

そう言うと、目の前が暗くなった。

主人公設定（ネタバレ）

イリヤスファイル・フォン・アインツベルン

【ステータス】

《Lv. 6》

力：S	900	耐久：A	800	起用：A	800	敏捷：A	800
魔力：A	800	幸運：S	900	対異常：A	800		
耐魔力：A	800	騎乗：S	900	直感：A	800		
魔力放出：A	800	単独行動：S	900	千里眼：C	600		

心眼(真) : B	700	戦闘続行 : A	800	勇猛 : S	900
仕切り直し : C	600	陣地作成 : A	800	道具作成 : A	800
気配遮断 : S	900	透化 : B	700	軍略 : B	700
カリスマ : S	900				

【魔法】

《風王結界》《無限の剣製》

【スキル】

《十二の試練》《燕返し》《無窮の武練》

《己が栄光のためでなく》《騎士は徒手にて死せず》

《神威の車輪》《遙かなる蹂躞制覇》《全て遠き理想郷》

《亜空間倉庫》《精霊の加護》《神性 : C》

《合成》《神造人間》《小聖杯》《マツピング》